

# 2021 年度 第 1 回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2021 年 5 月 7 日（金）13:00 ~ 17:10

会 場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18 名、

出席理事数 18 名、出席監事数 2 名（杉本恭三 監事、津田文雄 監事）

リアル出席：金子会長、野元専務、小見常務、WEB 出席：15 理事、2 監事は各事務所から WEB 出席  
会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

## 会長挨拶骨子

・新型コロナウイルスの感染状況も変異種の割合上昇・置き換わりや二重変異種の出現により、1 年以上経った今、更に悪化しており、驚きを禁じ得ない。収束も見通せず、Web 理事会が続いているが、感染状況やワクチンの普及状況を確認しながら、リアル半数・Web 半数等での開催も検討しているので、今しばらくは Web 参加をお願いします。

< 3/4 理事会以降の業務報告 >

・4/14-15、正副会長と事務局で合宿で業務打合せを行った。コロナ禍で「何ができるか」、「どうい推進、どうい支援が求められているか」を議論した。

・4/20、「商品別基準代理店手数料率の引下げ」に関する4社目の対応を行った。緊急事態宣言発出により、1/15の予定が延期となっていたMS社への申し入れを4/20に実施した。（横山副会長に同道いただき、MS社福田副社長を訪問し、申し入れを行った。）

・4/27、金融庁との意見交換会を実施した。内容については、議事録を確認いただきたい。会議参加にあたり、事前に留意点を連絡したが、「Zoom 会議参加のマナー」が守られていない参加者が散見された。各理事からも、ルール遵守の徹底を改めて働きかけてほしい。

今日は 2021 年度の最初の理事会である。ハイブリッドバーチャル形式であるが、皆さんも慣れてきたと認識している。Web 会議故にやや不足ぎみであった「活発な議論」を今日はぜひともお願いします。

## 〔決議事項〕

1 . 2021 年 6 月開催の 2021 年度通常総会 日程・運営・付議事項等の審議

- ・会長より、資料に基づき、2021 年 6 月開催の 2021 年度通常総会(1)開催形式、(2)日程、(3)運営、(4)付議事項について提案があり、項目ごとに審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1) 開催形式

ハイブリッド出席型バーチャル形式での開催とする

(2) 日程

開催日 2021年6月11日(金)

会場 日本代協会議室(東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル321区)

日程 10:00~ 通常総会  
13:00~14:00 政連臨時代議員会  
14:00~17:00 全国会長懇談会  
17:15~18:00 特別セミナー

(3) 総会運営

総会議長候補者(1名)議事録署名人(2名)の選出

- ・議長候補者 小口 泰伸 氏(千葉県代協会会長)
- ・議事録署名人 磯 利二 氏(東京代協会会長)、塩野 忠 氏(埼玉県代協会会長)

(4) 2021年度通常総会付議事項

第1号議案 2020年度(第57期)事業報告案承認の件

第2号議案 2020年度(第57期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第3号議案 監事退任に伴う監事選任の件

・次に付議事項の内容に関する審議について、事務局より、第1号議案から第3号議案について説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

通常総会の招集通知は5/17(月)に発送予定である。

【決定したこと】

2021年度 通常総会付議事項審議

第1号議案 2020年度(第57期)事業報告案承認の件

- 1.2020年度(第57期)事業報告 要旨
  - 2.代理店・募集人の資質向上(教育研修事業)
  - 3.損害保険の普及と消費者保護に向けた取り組み
  - 4.実効性あるCSR活動の展開
  - 5.組織力の強化
  - 6.活力ある代理店制度の構築
  - 7.対外的広報活動の展開
  - 8.代協正会員への支援・サービス・情報の提供
  - 9.コンベンションの開催
  - 10.法人運営
- 付1.~付6.

第2号議案 2020年度(第57期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第3号議案 監事退任に伴う監事選任の件

杉本恭三監事から異動に伴う退任申し出があり、後任の監事候補者として白石雅一氏を選任した。

(5/6開催した資格審査委員会磯委員長より、候補者が適格であることが報告された。)

[資料 審1.] 2021年度通常総会招集通知案(別冊配布)

## 2. 2020年度の取組みに関する表彰

- ・事務局より、2020年度の取組に関する表彰について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

#### (1)2020年度「仲間づくり推進（代協正会員増強運動）」の表彰

年間入会目標達成代協の表彰

（基準：+20店=7万、基準：+10店=5万、基準：目標達成=3万）

- ・北海道、岩手、長野、山梨、三重、富山、石川、福井、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、山口、徳島、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄・・・基準 目標達成（3万）
- ・会長特別表彰（連覇加算V4以上）：V17福岡（+14万）、V8滋賀（+5万）、  
V7山梨・京都・奈良・長崎・熊本（+4万）、V5徳島（+2万）
- ・年間連Q稼働達成：長野、山梨、福井、京都、大阪、福岡、佐賀、長崎……………（+1万）

仲間づくり「入会・増強Wキャンペーン」の表彰

入賞した以下の21代協を全国会長懇談会の場にて表彰（表彰状授与）する。

- 期間入会目標達成：北海道、岩手、長野、静岡、三重、富山、石川、福井、滋賀、京都、奈良、  
大阪、和歌山、山口、徳島、香川、愛媛、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄……………（+1万）
- 年間減少脱却達成：岩手、長野、三重、滋賀、山口、愛媛、沖縄……………（+2万）

#### (2)三冠王の表彰（ダイヤモンド三冠、プラチナ三冠は該当なし）

- ゴールド三冠：大阪・福井・三重・京都・滋賀・福岡・鹿児島・奈良・岩手・石川・和歌山・  
熊本・長野……………（4万）
- 三冠王：長崎・山梨・宮崎・山口・北海道・徳島・愛媛・沖縄……………（3万）
- 連覇加算：大阪・山梨・福井・三重・京都・滋賀・宮崎・福岡・鹿児島・奈良・山口・北海道・  
石川・徳島・和歌山・愛媛・熊本・沖縄……………（+2万）

### 【主な意見等】

- ・入会目標数の設定については、組織率に応じて算出されていて、組織率の低い代協の目標は大きな数となっている。このこと自体は公平性の観点から容認できるが、現行の表彰金額の基準（＝+20店、7万円、＝+10店、5万円、＝目標達成、3万円）については、時代環境に見合っておらず、検討が必要である。
- ・入会目標数により金額に差をつける、入会目標数の超過数を評価するなど検討いただきたい。
- ・表彰金額の基準などについて、組織委員会で検討する。

〔資料 審2.〕2020年度「目指せ、三冠王！！」最終結果(P.1)

## 3. 委員会関連審議事項（諮問・推進事項に関する中間答申他）

### 各委員会の答申

- ・各委員会委員長から、資料に基づき、2020年度の諮問・推進事項に関する中間答申の報告があり、審議・採決の結果、今回の結論及び方向性が全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・各委員会からの中間答申案報告（各委員会資料）の通り、承認された。

### 【主な意見等】

- ・「日本代協アカデミー」の推進に関しては、「なぜ必要かの動機付け」など本質が伝わっておらず、登録ありきの推進に偏ってしまっている代協がある。改めて「本質」を伝え、理解いただくところから仕切り直す必要がある。理事や委員の活用状況の公表など全体で推進する

打ち手の検討をお願いします。

- ・「日本代協アカデミー」のコンテンツの充実も喫緊の課題である。新コンテンツの開発計画が進んでいないようなので、次年度の研修・教育計画の立案に支障が出てしまう。
- ・「各地の組織委員会への日本代協組織委員会正副委員長の Web 参加」は、情報共有、温度差の改善に資する面白い取組みである。
- ・SNS 活用は有効である一方で「発言内容のチェック」には注意を要する。チェック体制を確立する必要がある。

〔地区別委員会別資料〕 各委員会中間答申案（地域別委員会別資料 P.17-57）  
組織委員会中間答申案（追加資料その2 P.4-16）

#### 4. 全国会長懇談会の運営

- ・事務局より、資料に基づき、6/11（金）に開催する全国会長懇談会の進行方法について、提案があり、審議採決の結果、進行方法について全会一致で承認された。

##### 【決定したこと】

- ・前年度取組みに関する表彰や好取組事例発表があり、時間が限られるので、「分散会」は実施せず、全体での意見交換を行う。

##### 【主な意見等】

- ・Web 会議での表彰の盛り上げ策が必要と考える。三冠王獲得の代協の写真のカットインするなど喜びを分かち合える施策を検討いただきたい。
- ・セミナーを「AI-Contact の解説」で調整し、意見交換の時間を捻出できるようにする。（セミナー予定時間を 75 分から、45 分に圧縮し、日本代協からの報告も 60 分から 45 分に縮小できるように準備する。）

#### 〔報告事項〕

##### 1. 副会長担当委員会の一部変更および地域担当理事の支援体制

- ・金子会長から、副会長の担当委員会の一部変更ならびに地域担当理事の業務サポート体制の整備について説明があり、共有された。

##### (1) 担当委員会の変更

企画環境：山口副会長'。小田島 副会長、広報：横山副会長'。山口 副会長

##### (2) 地域担当理事の業務のサポート体制の整備

#### 2020～2021年度 副会長担当業務( *変更箇所: 斜体文字* )

	山口副会長	横山副会長	小田島副会長	小俣副会長
共通	・会長補佐(事業推進に関するアドバイス・会長代理機能) ・損保協会、保険会社、諸団体、有識者等との関係構築 ・政治対応支援 ・地域担当理事のサポート ( <i>地域を分担サポート</i> )・研究会サポート			
委員会サポート	<i>広報委員会</i> 財務委員会	CSR委員会	<i>企画環境委員会</i> 教育委員会	組織委員会

##### 2. 地区担当理事からの報告等

- ・事業計画アクションシートへの記載事項のうちの重点事項および記載事項以外の特記事項について報告があり、共有された。

- ・Web 会議中心の運営であったが、工夫してリアル面談を実施したところ、情報共有、理解が

深まった。成功事例・失敗事例の共有に力を入れ、「役に立つ代協」を強く意識して、地域での活動に取り組んだ。また、情報を伝えるという意味でも、「事業計画アクションシート」にどれだけ思いを込められるかについても腐心しながらチャレンジしている。

- ・市の自転車保険の義務化に伴い、市と連携し、市のホームページから代協のホームページにリンクをつなげることが実現した。
- ・新年度の動きに関して、京都での「新入会員の募集ちらし」を理事 direct で配信したので、参考にしていきたい。また各地で新入会員オリエンテーションやフォローアップを開催した。
- ・リアル対応可能な行事、会議には出向いて、情報共有や論議を深めていく。
- ・「各代協の理事会・委員会や支部会の議事録の収集・確認」は、現状把握に役立った。各代協の現状を知り、課題を共有し、一緒に対策を検討していきたい。

〔地区別委員会別資料〕各 B 事業計画アクションシート（地域別委員会別資料 P.1-16）  
上信越・東関東・南関東 B 報告（追加資料その 2 P.17-22）

### 3 . 前回理事会（2021.3.4 開催）以降の主な業務報告

#### （1）「商品別基準代理店手数料率の引下げ」に関する対応

- ・事務局より、大手 4 社役員に対する申し入れ実施について報告があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・金子会長から、下記の内容を強く伝え、今後の対応改善を要請した。
  - \*代理店との取引条件を悪くする改定であることへの認識を強く持つべき
  - \*改定が必要な客観的な理由を丁寧に説明し、頭を下げて依頼すべき案件
  - \*相手の立場に立って人としての思いや共感を感じられる対応をすべき
  - \*代手削減の前に、付加率の構成要素である社費削減努力の内容を示すべき
  - \*環境変化の中で、代理店としての事業の維持・発展のための戦略や具体策をひざ詰めで打ち合わせ、代理店の成長・発展を支援する打ち合わせをすべきであり、既定事実を伝えるだけなら社員は要らない。

（11/10 AD 社：田村専務、12/9 TN 社：鷲見常務、12/21 SJ 社：飯豊専務、1/15 4/20 MS 社：福田副社長）

- ・各社の対応は、4 社ともに代手に関する社員の認識、情報の内容・伝え方、対話の進め方、経営戦略への関与度合い等が総じて不十分であったことを反省し、今後の対応に生かすことを確約いただいた。なお、各社ともに、商品全体のリスクを見通した場合、今後損害率が改善したら元の水準に戻すような状況ではないとの認識であり、留意が必要である。

〔資料 番外〕商品別基準代手引き下げ：大手 4 社への対応改善要請（追加資料 P.42）

#### （2）監査実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、監査実施報告があり、確認、共有された。

##### 【主な内容】

- ・2021 年 4 月 28 日(水)業務監査が行われた。(杉本監事、津田監事、南久松公認会計士が参加)
- ・事業報告に関しては、「2021 年度通常総会招集のご通知(案)」にて報告を行った。
- ・4 月 15・23 日実施の期末決算会計監査では、特に問題となるような点の指摘はなかった。

- ・業務執行に関し、監事から特別な指摘事項はなかったが、以下のような質疑応答があった。  
 コロナ禍を逆手にとった取組み、三冠王の継続的な取組み、ブロック対策費の活用、赤字予算の考え方

〔資料 審1.〕 2021年度通常総会招集通知案（別冊配布）

### （3）「仲間づくり推進（正会員増強運動）」3月末状況・4月末状況

- ・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の3月末状況及び4月末状況について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・会員数は対前年度 424店で総計11,344店と減店。324店の入会に対して748店の退会（内71.5%に当たる535店が合併・統廃合による退会）だった。
- ・入会目標を達成した代協は、北海道・岩手・長野・山梨・三重・富山・石川・福井・滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・山口・徳島・香川・愛媛・福岡・佐賀・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄の24代協。
- ・代申社別では、chubb・楽天は+2店と増店したが、損保ジャパン 182店、東海日動 156店、三井住友 48店、あいおい 20店、AIG 14店、共栄・日新 3店と多くは減店となった。
- ・換算組織率70%超代協：京都79.6%、香川78.6%、高知73.2%、奈良71.9%、滋賀71.6%、徳島71.2%、鳥取70.7%の7代協。
- ・4月末：入会41店、退会72店（内合併等は78%となる56店）合計31店で合計11,313店となった。
- ・石川2店/目標6店=33.0%、京都1店/目標3店=33.0%、大阪4店/目標12店=33.0%、熊本2店/目標6店=33.0%と好スタート。
- ・代申社別ではSJ 12店、TN 11店、MS 7店、AIG・日新 2店、AD・楽天 1店と減店となった一方で、共栄・大同+2店等と増店した。

〔資料 報1.〕1. 「仲間づくり推進」3月分 1.代協別、2.代申社別（P.2-3）

2. 2021年度「入会」目標（P.4）

3. 「仲間づくり推進」4月分 1.代協別、2.代申社別（追加資料その2P.23-24）

### （4）損害保険トータルプランナー認定状況等

- ・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込結果およびセミナー運営状況ならびに損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

コンサルティングコース受講申込結果ならびにセミナー運営状況

- ・2020年度のコンサル受講者募集については、46代協が目標を達成し、合計1,284名となった。代協会員の比率は70.1%(865/1,234)と昨年同レベルの7割超であった。
- ・代申社別では、損保ジャパン351名、三井住友297名、東海日動241名、あいおい180名、AIG127名という結果であった。
- ・コロナ禍の中で、保険会社における手数料体系や認定制度の改定といった特別な追い風はなかったが、各代協の地道な活動が成果に結びついたと言える。
- ・コンサルセミナーに関しては変異種のまん延により、多くの地域で再々延期となっており、

教育委員・事務局・教育事務センターで受講者対応に当たっている。

代替策（講義動画・アンケート配信返信・論文提出等）の検討を詰めると同時にWEBセミナー化に向けたオペレーション業務提携業者の選別（現状、運営者数も少なく、業務内容やコストにバラつきが多いため、各業者との交渉中である）に注力する。

#### 損害保険トータルプランナーの認定状況等

3月末時点	損害保険トータルプランナー	17,518名(+48名)
	認定有効者数	15,269名(+14名)
	代理店検索機能登録	4,320店(+12店)
	損害保険プランナー	88,813名(+266名)
	有効認定者数	37,465名(±0名)
	ゴールドカード保有者	7,182名(+45名)

〔資料 報2.〕1.コンサル受講申込状況最終結果(P.5-6)

2.損保トータルプランナー認定状況等 3月末状況(P.7-8)

#### (5) 日本代協アカデミーの推進

・事務局より、資料に基づき、2020年度の日本代協アカデミーの推進状況について報告があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・利用者ID登録については、2020年度目標1,959IDの登録に対しては、2,559IDと130.6%の達成となった。累計で961会員、6,751ID。2019年10月より本格稼働し、2020年9月末で初めての更新を迎えたが、結果、186ID、107店が未更新という状況だった。
- ・登録済でも実際に活用している代理店が少ないことも確認できているが、代理店独自の別の教育制度を導入している事例は一部に限られる状況であり、体制整備の状況と比例し、代理店内での募集人教育に関する取組状況に格差が生じてきていることに気付かされた。今後の方向性として、ID登録推進も引き続き行うが、日本代協アカデミーの「本質」を理解していただくための情宣活動に軸を置かなければならない。保険会社提供のコンプラ・商品別eラーニングの実施だけのミニマムレベルで留まっているのかを本気で考えてもらうことが重要である。
- ・代理店賠償と並ぶ代協会員のメリットであるとの認識を深めてもらえるよう、活動を仕切り直しする。

〔資料 報3.〕1.2020年度アカデミー利用者ID集計データ(P.9)

2.2021年度アカデミー目標数(P.10)

3.日本代協アカデミー利用状況データ(P.11-13)

#### (6) 「ぼうさい探検隊」の展開

・事務局より、資料に基づき、2021年度の「ぼうさい探検隊」の展開について説明があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・ぼうさい探検隊の推進について早期始動をお願いする。

[https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai\\_sp/](https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/)

2021年は11/4(木)がマップ提出期限である。

## (7) 代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、「代理店経営サポートデスク」の対応状況について説明があり、共有された。

### 【主な内容】

- ・2021年3月末で年度合計47件の相談があった。2019・2020年度計では、代理店合併・事業承継38件、代理店BCP・事業継続力強化計画32件、代理店労務管理18件、代理店経営全般18件、体制整備等9件となっている。
- ・提供コンテンツ(提供済、提供予定)については以下のとおり、  
提供済コンテンツ  
BCP策定簡単が1つ基本編(2020/2月)、BCP策定簡単が1つ感染症編(2020/9月)、  
事業承継が1つ(2020/10月)、代理店合併基本1つ(2020/12月)、  
ハザードマップ活用が1つ(2021/2月)、BCP基本訓練ヒント集(2021/2月)  
今後提供予定のコンテンツ  
代理店ホームページ活用が1つ(2021/4月)、事業継続力強化計画認定会員取材(2021/4月～)、  
代理店経営未来塾(仮称)(2021年下期スタート予定)  
日本代協アカデミー情報提供コンテンツ「こちら代理店経営相談室」コーナーの好取組事例取材も四半期ごと実施する予定。
- ・ジェネクスト社が提供する法人向け交通安全システム「AI-Contact(アイコンタクト)」の地域特約代理店として提携するビジネスモデルを検討している。特約店には一定の要件もあるが、「交通安全効果が高く、自動車保険料の削減に有効なツール」として全国のフリート契約企業での導入が進んでいるものであり、代協会員の付加価値提供につながるものと考えられる。代理店経営サポートデスクならびに企画環境委員会主管で取組みを進めながら検証する。5月に会員向けオンライン説明会を開催する予定であり、改めて案内する。
  - \*事故鑑定事業を通じて、交通事故の削減・予防の特効薬は「交通違反を減らすこと」との結論に至り、車両の交通違反を検知して事故を削減するスマホアプリを開発。
  - \*社員がいつ、どこで、どんな交通違反をしたかを記録し、ダッシュボードに出力され、危険な運転をしている拠点・ドライバーを一目で確認できる仕組みで、このデータをもとに効率的な交通教育を実施し、交通安全を改善できる。
  - \*「交通安全効果が高く、自動車保険料の削減に有効なツール」としてフリート契約企業で導入が進んでいる。

〔資料 報4.〕1.「代理店経営サポートデスク」経営相談事案分類(P.14)

2.「代理店経営サポートデスク」経営相談事案明細(P.15-19)

3.代理店HP活用基本ガイドレター・代理店ホームページ活用ガイド(追加資料P.43-62)

## (8) 第10回日本代協コンベンションPTの活動開始

- ・事務局より、資料に基づき、第10回日本代協コンベンションPTの活動開始について報告があり、共有された。

### 【主な内容】

- ・5/12、2021年度コンベンションPTの初回会議を開催する予定である。東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から2名ずつ選出された8名+事務局4名のPTメンバーで始動する。
- ・開催の可否や対応について7月の理事会に上程すべく、感染状況等の確認と関係部署との情報



交換、調整を行う。

〔資料 報 5.〕 2021 コンベンション PT (NO.1) 開催通知 (P.20)

## 4 . その他

### ( 1 ) 業界最新情報

- ・事務局より、業界最新情報に関する報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

##### 4/27 金融庁と代協会長との意見交換会

4/27(火)15時～16時30分 日本代協会議室に金融庁池田保険課長、武田監視専門官、稲田監視係長に來会いただき、Zoom ミーティングにて 47 都道府県代協会長との意見交換会を開催した。47 都道府県代協会長、日本代協役員・政治連盟役員・事務局 29 名、合計 76 名が参加した。

- ・詳細は、議事録を作成したので、確認いただきたい。

#### ・今後の対応

- \*本内容については、課題毎に整理の上、根本原因や改善提案等を付した上で、次回「活力研」(7/14 開催予定)において、メガ損保 4 社地域営業担当部長と協議を行い、自律的な解決を目指す。

- \*それに先立ち、7/8 開催予定の「損保 7 社懇談会」の場で意見の内容を報告し、共有する。

- \*企画環境委員会で、代理店の現場の悩みや課題等について、情報収集を続け、集約を行う。

- \*代理店経営上の課題解決の一助として、「代理店経営サポートデスク」の活用を働きかける。(本年 5 月から、従来の水曜日に加えて木曜日も電話直接相談に対応している)

- \*日本代協事務局では、上記で整理・集約した情報を、適宜、金融庁、損保協会、各保険会社に伝え、改善の方向性を協議していく。

- \*定期的な意見交換会の継続開催については、当局に継続することの確約をいただいた。

#### 金融行政の動向への対応

「顧客本位の業務運営の原則」の改訂と“comply or explain”の要請について、考え方を整理したので、共有していただきたい。大変悩ましい問題であり、慎重な判断が必要である。

- ・当局は、形式だけではない「顧客本位の業務運営の徹底」を求めており、業界団体がひな型を提示したり、取組みをある方向に誘導したりすることは原則の主旨に反するとされているため、報告に当たっては、あくまでも自社の判断に基づき、自社の言葉で説明することが大前提となる。

- ・呼びかけの対象は、「原則」を採択した金融事業者であり、採択していない金融事業者は対象ではない。また報告義務の対象は、「原則」を採択した金融事業者のうち金融庁が HP に掲載して消費者に示す「金融事業者リスト」に名前を掲載することを希望する代理店である。

- ・「原則 4 手数料の明確化」への対応、「特定保険契約」の場合、「一般の保険」の場合については、資料 <金融行政の動向への対応>を参照いただきたい。

- ・希望者への個別アドバイスは、代理店経営サポートデスク、事務局にて対応する。

〔資料 報 6.〕

1. 0427 金融庁保険課と各代協会長との意見交換会議事録（追加資料その2 P.26-36）
2. 中企庁アンケート集約（取扱注意：会員外秘）(P.22-29)
3. 損保協会長ステートメント（P.30-34）
4. 損保協会中期基本計画（P.35）
5. ふうたのワンポイントレッスン（P.36-37）
6. 業界関連情報 22.～27.（P.38-55）
7. 特定修理業者対応  
業務停止命令

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/torihiki/shobun/shobun210318.html>

注意喚起情報

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/kinkyu/20210318.html>

埼玉県 HP

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0310/news/page/news2021033001.html>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0310/news/page/news2021031501.html>

番外. 損保ジャパン追加支払 20210426（追加資料）

番外. 第 22 回 RING の会案内ちらし（追加資料その2 P.42）

## （ 2 ）その他

- ・事務局より、資料に基づき、業界紙掲載情報および JCM 関連情報等について報告があり、確認、共有された。

〔資料 報 7.〕

1. 0308 新日本記事 金子会長インタビュー（P.56）
2. 0311 保毎記事 金融庁池田保険課長（P.57）
3. 0311 保毎記事 内山鑑定協会長（P.58）
4. 0317 保毎記事 日本代協臨時総会（P.59）
5. 0322 新日本記事 雨宮理事紹介（P.60）
6. ソシオ・ダイバシティ & アイリックコーポレーション共催説明会（P.61）
7. JCM 取扱実績（1.3 月買取車両実績、2. 年間実績）(P.62-64)

## 〔 監事講評 〕

津田監事から以下の通り、監事講評があった。

杉本恭三監事の退任を知り、寂しくとても残念に思っている。「ペーパーレス推進」、「審議事項と報告事項の論議順序是正」など、するどく、適切・的確な講評に刺激を受けた。

本日の理事会では審議事項で委員会の中間答申、報告事項で地域担当理事の総括と今年度の取組方針が論議されたが、闊達な論議という点ではまだ物足りなさを感じた。

以前より、委員会の方は諮問・推進事項に集中するあまり、委員会の中に閉じこもり気味になると感じている。各代協の総会で会員から出る質問を想定して、縦割りの殻を飛び出して闊達な論議をお願いしたい。

中島理事が企画した「全国一斉 Web 組織委員会の開催」(2021 年 7 月 13 日) や「各地の組織委員会への日本代協組織委員会正副委員長の Web 参加」は、情報共有、温度差の改善に資する面白い取組であり、他の委員会でも検討をお願いしたい。

春日理事には、各ブロック・代協の Web 構築支援については、待ちの姿勢から攻めの姿勢へ転じていただき、理事側からの一歩踏み込んだアプローチにチャレンジしてほしい。

雨宮理事が実践された「各代協の理事会・委員会や支部会の議事録の収集・確認」は、現状把握に役立つ取組みであり、他の理事の方も取り組んでみていただきたい。

皆さま方の今年度のますますの活躍を祈念している。

以上

< 諸会議開催予定 >

2021年05月～2021年12月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2021年度	5月7日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第1回理事会 テーマ:事業報告・決算報告他 通常議題	日本代協 会議室 WEB会議Zoom開催
	6月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第2回理事会 テーマ:総会運営、会長懇談会運営、通常議題	日本代協 会議室 WEB会議Zoom開催
	6月11日(金)	10:00～12:00 13:00～16:30 16:45～18:00	通常総会 政連臨時時代議員会・第1回全国会長懇談会 セミナー予定	日本代協会議室 ハイブリッド出席型バーチャル WEB会議Zoom
	7月2日(金)	15:30～17:30 17:45～20:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月8日(木)	14:30～15:30 16:00～17:30 17:45～20:00	(7社懇 事前打合せ) 損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月9日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月14日(水)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	9月9日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	9月10日(金)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:20～19:30	第1回ブロック長懇談会 特別セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 未定
	10月8日(金)	9:30～10:45 11:00～17:00 18:00～	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(損保協会主催)(正副会長と2理事)	日本代協 会議室 会場 未定
	11月5日(金)	13:00～20:00	第10回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月6日(土)	10:00～12:00	第10回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他
	12月15日(水)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	12月16日(木)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:10～19:30	第2回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 未定

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後5時10分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2021年5月7日

議長                      会 長                      金 子   智 明                      印

議事録署名人   監 事                      杉 本   恭 三                      印

議事録署名人   監 事                      津 田   文 雄                      印